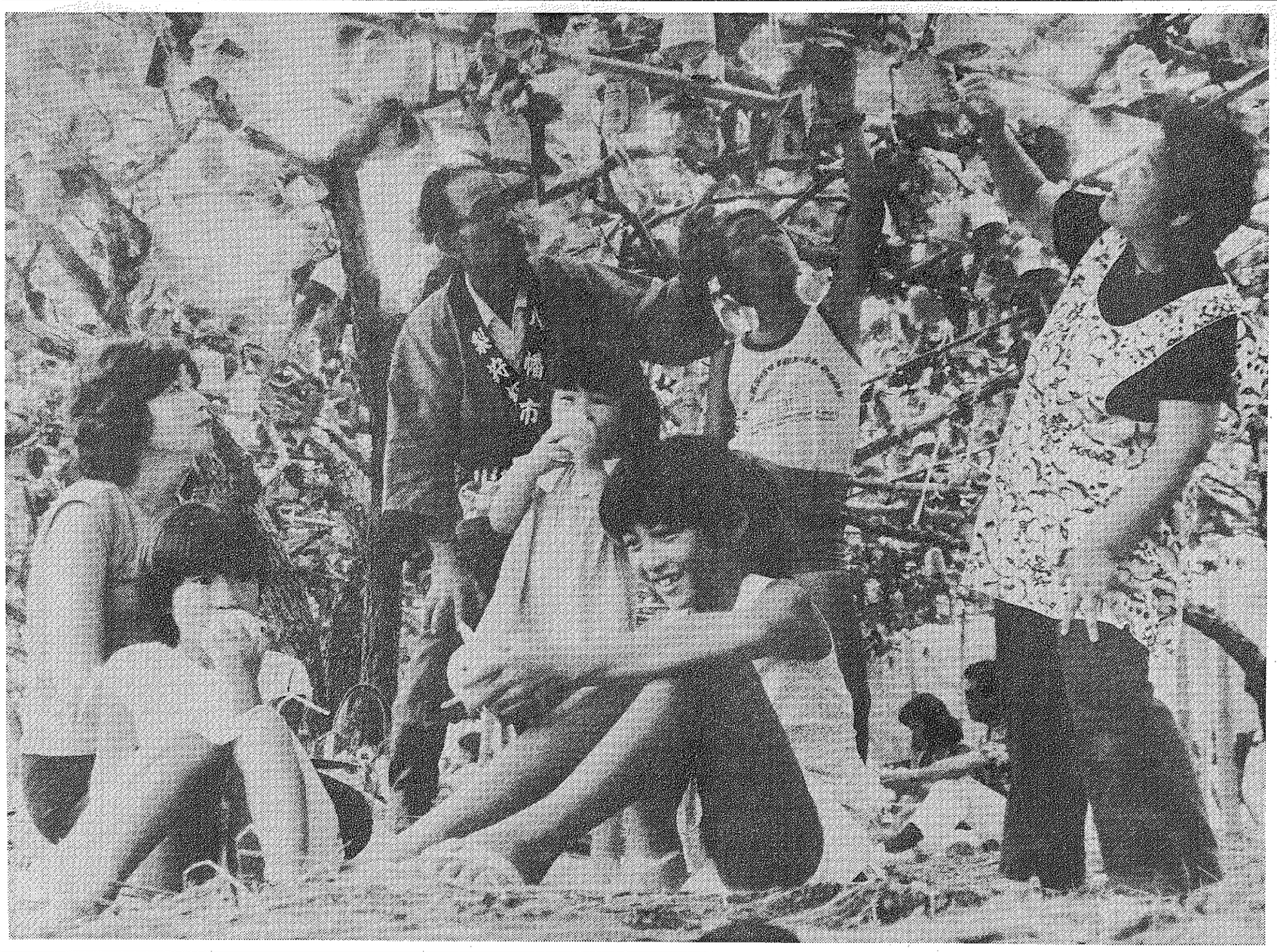
第234号
昭和58年（1983年）9月
広報やわた
発行 八幡市役所
八幡市八幡園内75
TEL（075）983—1111
編集 総務部秘書広報課

男山中学校が新築移転

2学期の始まる9月1日から、よい環境と整った設備をもつ新校舎で授業が始まりました。新住所は、八幡柿木垣内（かきのきがいと）18 ☎981—3135・3136

市の現勢（昭和58年8月1日）
◆人口 70,008人（男 35,052 女 34,956）
◆世帯 21,144世帯
◆面積 23.51km²



味覚の秋

わあ おいしい

〝川口の梨狩り〟最盛期

八月十七日、川口の梨狩りが始まり、梨園は連日、家族づれや若いカップルなど、大ぜいの人たちでにぎわっています。今年の梨の出来ばえは、よい天候に恵まれて甘さも上々。梨をほおばるどの顔にも、笑顔がこぼれていました。梨狩りは九月三十日まで実施。あなたも八幡の味覚の秋をたずねてみませんか。

非核平和都市

宣言板と碑を設置

平和への思いをいつも心に

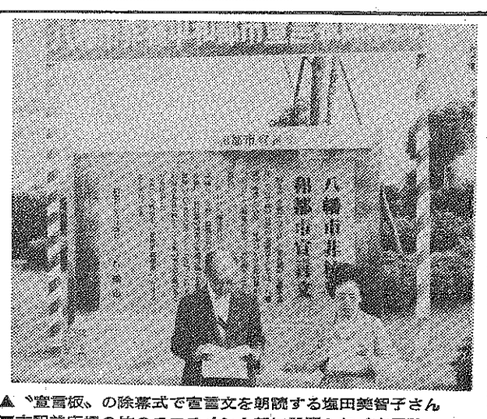
平和なくしては、八幡市のめざしている〝縁ゆたかな文化の都市・心のかよう福祉の都市〟の実現はあり得ない。暮らしの原点の自治体が率先して、核兵器の廃絶と軍備の縮小を全世界に訴えよう——と、昨年九月二十八日、市議会の満場一致の決議を経て〝八幡市非核平和都市〟を宣言しましたが、市では、この宣言碑と宣言板を作製、八月六日、除幕式を行いました。

宣言碑は、黒みかげ石（縦七十㌢、横一・八㍍、奥行き九十㌢）に〝非核平和都市〟と刻んだもので、八幡市の玄関口にある八幡市駅前広場中央の竹のモニュメント部分に設置。また宣言全文を書いた宣言板は、市役所西側通入路の植込みの中で、縦二㍍、横二・四㍍のステンレス製です。

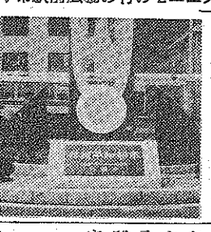
この日、市議会議員をはじめ、区長、婦人会など団体役員約百人が出席し、三十八年前、広島に原子爆弾が投下された同時刻の八時十五分に平和の鐘を合図に一分間の黙とうを捧げ、被爆者のめい福を祈りました。

続いて、西村市長、関東市議会議長そして市内在住の被爆者代表として出席された中村久代さんの三人が宣言板の除幕を行ったあと、市婦人団体連絡協議会長の塩田美智子さんが宣言文を朗読。出席されたみなさんは、平和への誓いを新たにしておられました。

また、市役所ロビーにおいては「ふるさとの平和を守る写真展」を開催して、原爆の悲惨さ、戦争の恐ろしさを伝える四十枚の写真パネルを六日から終戦記念日の十五日までの間、展示しました。



▲〝宣言板〟の除幕式で宣言文を朗読する塩田美智子さん
▼市駅前広場の竹のモニュメント部に設置した〝宣言碑〟



非核平和都市宣言のまち

八幡市

広島から〝平和の鐘〟

過ち再び繰り返えすな！と

午前八時十五分、市役所庁舎の屋上スピーカーから流れる鐘の音を合図に、参加者全員で一分間の黙とうを捧げました。

この鐘の音は、広島市で毎年原爆記念日に打ち鳴らされる「平和の鐘」の録音テープで、広島市の厚意によって届けられました。

我が国を含め、今、世界では軍備の増強が進められ、すでに現有の核兵器の量は、地球上人類を何度も全滅させることができると言われています。「カーン、カーン」と鳴り響く平和の鐘の音は、三十八年前、人類が犯かした過ちを再び繰り返すな——と訴えかけていました。

【西村正男市長のあいさつから】

——時間は人間の記憶を薄めます。広島を忘れてはならない。長崎を忘れてはならない。戦争を忘れてはならない。そのためには暮らしの原点の自治体が率先して核兵器の廃絶と軍備の縮小を訴え、その輪を全国、さらに全世界へ広げていくことが大切です。

この宣言板が、市役所にとられるみなさんの心に、絶えず核兵器の廃絶と平和の気持を訴え、非核と平和の思いを新たにしていただくことを願います。

八幡市

非核平和都市宣言

恒久の平和と安全は人類共通の念願であり、この至高の目標の達成なくしては、八幡市のめざしている〝縁ゆたかな文化の都市〟〝心のかよう福祉の都市〟の実現もまたあり得ない。

われわれ八幡市民は、いのちの尊厳を深く認識し、非核三原則が完全に実施されることを願い、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く全世界のひとびとに訴えるとともに、この人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることを決意した。

ここに、八幡市を〝非核平和都市〟とすることを宣言する。

昭和57年9月28日

八幡市

木津川の風情 再び…

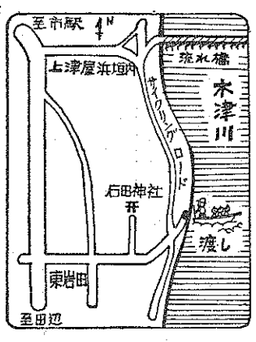
〝岩田の渡し舟〟二年ぶりに復活

木津川の風物として親しまれてきた岩田と対岸の城陽市寺田を結ぶ「岩田の渡し」が、二年ぶりに復活しました。

この渡しは、木津川にかかる橋がほとんどなかった江戸時代から住民の大切な交通手段として運航されてきたといわれ、今日でもお茶の季節になると対岸の茶園へ行く摘み子さんが利用。〝木津川の風物詩〟として、広く親しまれてきました。しかし、船頭さんのせいぜい五十六年九月に運休。以来この〝木津川の風情を再び〟と復活の声が高まっていたものです。

市ではこの間、渡し舟の後任船頭さんを募集していましたが、このほどシルバー人材センター登録者で、船頭歴三十余年という豊かな経験を持つ関西清誠さん（七十一歳＝下奈良・十段）がこの役を引き受けてくださいました。

再開された六月十三日、西村市長をはじめ、近くの都々城保育園児十五人が入れ替り乗船、関西さんのみごとなサオさばきで木津川の川面にすべり出しました。



週に四回運航 乗船料は無料

岩田の渡しは、これまで予約制でしたが、これからは乗船場へ行けば随時乗れるようになりました。運航日は次のとおりです。

【火・木曜日】 午前八時三十分から正午まで

【土・日曜日・祝日】 午前八時三十分から午後五時まで

※運休日は、月・水・金曜日と雨による木津川が増水した場合などです。

八幡東公園計画

計画の推進など答申

——八幡市都市計画審議会

市では、市東部地区に「八幡東公園」の建設計画を進めていますが、このほど、同事業について市長から諮問を受けて審議していた八幡市都市計画審議会（関東利一会長、十一人）から次のような答申がされました。

それによると、▽基本計画については全員同意する ▽計画の推進をはかること ▽公園周辺の整備、交通体系の整備も引き続き計画をつくり、審議会に諮問することなどがあげられています。

同公園は、市民のスポーツや各種の活動の拠点としても活用することを目的に、上津屋と野尻地区にまたがる六・二㌶の農地の提供を協力していただいて、体育館、多目的広場、テニスコートなどを建設するものです。また、この施設は昭和六十三年京都国体のハンドボール競技場として使用される計画で、市議会でも、京都国体の成功に向けた決議が満場一致で可決されており、市では、この積極的な推進をはかるため、今年度から事業を進めていく計画です。

なお、用地の確保については引き続き、地主のみなさんに協力をお願いすることにしています。

市長の手帳から

声に出せば変わりはないものの、その心は〝暑い〟というよりも〝熱い〟という感じの方がむしろふさわしい今年の夏の燃え盛りようであった。

寝苦夏日がつづき、熱帯夜がかさなって、これでもか、これでもかと、熱に対する人間の我慢の限界をテストするかのような太陽のかがやきであり、大気のぬくもりであった。

〝暑い〟〝熱い〟をくりかえしているなかで、今年も八月六日がおとずれた。忘れてはならない日が、今年も、また、確実にめぐってきたのである。

× × ×

広島の平和の鐘の市役所の屋上に鳴りて身じろぎもせず

聞し眼に汗入りきたれば原子雲のごとき残像の乱れつつ見ゆ

いのちありて汗は喰くなり非核平和都市宣言除幕の綱を引きつつ

皮膚焼けて汗もながむ広島の三十八年前のこの時

白き服着よとの指令原爆のためとは知らずわが十六の夏

八月六日の午前八時十五分、市役所庁屋上のスピーカーから荘厳な鐘の音が流れたが、これは広島市のご好意で、例年この日のこの時刻に、不変の誓いと祈りをこめて打ち鳴らされる平和公園の鐘の音色をテープにとって送っていただいたものである。

この日、市役所前に集っていただいた百人あまりの市民代表のみなさんとともに、鐘を合図に一分間の黙とうを捧げ、それが終わって、議長の関東さんと市内在住の被爆者四十一人の代表である中村久代さんと私との三人で、昨年の九月二十八日に市議会で満場一致の決議をしていただいた〝八幡市非核平和都市宣言〟の全文を朗読したあと、婦人団体連絡協議会長の塩田さんに宣言文の朗読をしていただいたが、その間、額は噴き出る汗の果であり、頬は流れる汗の洪水であった。

額から落ちて眼にしみる汗、頬を伝って首へとしたたる汗、それを拭いたい衝動を覚えたときに、私の心に浮かんだのは、そのときの広島に、もはや人間の汗はなかったという思いであった。

いのちあればこそ暑いと感じることができるのである。熱いと感じる間もなく、一瞬のうちに死に追いやられた人々、焼かれた体を引きずって、ひたすら水を求めながら死んでいった人々、そして今もなお後遺症に苦しむ人々の存在を、改めて心に刻んだのである。

残暑は今日もきびしいが、この日から、私は、暑いと感じるたびに、広島を思い、原爆を思い、平和を思うようになった。

今日は八月も末日。さしもの猛暑も、まもなく和らぐことであろう。九月がきても、涼風が立っても、このことは忘れまい——そう思うのである。

八幡市長 西村正男

10月1日 住宅統計調査

—ご協力のお願い—

この調査は、私たちの生活の基盤である住宅の状況を明らかにして、住宅政策などの基礎とするもので、調査対象世帯は、全国約10分の1世帯、本市では約3400世帯です。9月下旬から調査員が調査票をもって訪問しますので、ご協力ください。

体験してみませんか。

ゴミ収集作業を通して提言を

てきぱきと行われる収集活動もいざ実際にやってみると——。ごみの出し方も変ってきます。

生活様式の多様化に伴って、家庭から排出されるゴミは、毎年増加の一途をたどり、その種類も多種多様にわたることから、ゴミ処理は、今や深刻な社会問題の一つになっています。

市民のみなさんの大切な税金がそのゴミの量に比例して使われていることを考えれば、生ゴミの水切り、空ビン・紙類のリサイクルなど、各家庭でのゴミの減量はおろそかにできません。

市では、九月二十一日から二十七日までの清掃週間にあわせて、市民の皆さんにゴミ収集の体験を通してゴミ問題に提言をいただくため、〝一日ゴミ収集員〟を募集します。ふるってご応募ください。

【実施日】 九月二十四日（土）▽収集作業時間＝午前九時から十時三十分まで ▽市長をかこみ、ゴミ問題の懇談会＝午前十時三十分から十一時三十分まで

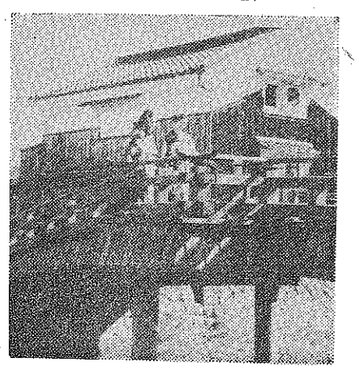
【募集人数】 市内在住者で、ゴミ問題に関心のある人。二十人。男女の別は問いませんが、二十歳から五十歳までの人とします。

【応募方法】 九月十五日までに市環境課（☎九八三—一一一一内線二六一）へ申し込んでください

'83 ミス着物 モデル撮影会

9月15日 午前10時～

（雨天の場合は18日に延期します）



ミス着物をモデルに「八幡八景写真撮影会」を開催します。作品は、続いて実施する八幡八景写真コンテスト（応募締切は9月30日）にご応募ください。撮影会の実施要領は次のとおりです。

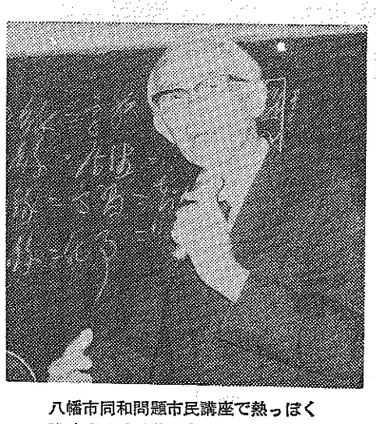
■集合場所 さくら公園（八寿園横） ■撮影場所 さくら公園（10時30分～11時30分）・川口の梨狩り等（13時～14時）・流れ橋（14時30分～15時30分） ■撮影場所の移動 バスを運行しますのでご利用ください。また、八幡市駅からさくら公園行のバスを運行（8時40分～9時40分）します。■作品の応募 カラー・白黒ともに4切とし、画題、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入した応募票を作品の裏面にはって、9月30日までに市役所商工観光課（〒614 八幡市八幡園内75）へ送付してください。

同和問題市民講座

磯村英一氏の講演から ②

あやまちを犯した政府と地方自治体

守ろう人権・なくそう部落差別



八幡市同和問題市民講座で熱っぽく講演する磯村英一さん

明治四年の身分解放令によって「士・農・工・商・えた・非人」といわれた身分制度がなくなりました。しかし、このとき、政府が二つのエラーをしました。

それは何かといいますと新しく「えた・非人」も平民にしたのですが、単に幕藩体制の下でつくられた身分制度を廃止しただけで、政府はこの人たちのことを「特殊部落」と別の言葉を使いました。差別の本質を理解していなかったのですね。ですから、この「特殊部落」という言葉は、新しい差別の言葉になってしまったのです。そしてこの言葉が、どれだけ、いわゆる日本の同和問題の解決に不幸な影を残したか計り知れません。

政治的に「えた・非人」という身分制度をつくり、居住・移転の自由や職業の選択の自由を認めず、住環境の整備も放置しておいて政府がこの人たちの住んでいた所が「特殊部落」だとこう言ったのです。

したがって「特殊部落」という言葉を使うときには「特殊部落」というカッコをつけます。これは政府が間違って使った言葉だという証拠になるんです。それを、ただ特殊部落なんていう使い方をすることは、このときの間違いをそのまま行うのですから、これはいけません。

もう一つは、地方自治体が間違ったわけです。

せっかくこの人たちが名前をつけて戸籍をつくったときに、戸籍に印をつけてしまったわけです。その結果、「新平民」という言葉がでてきました。この「特殊部落」という言葉と「新平民」という二つの言葉が今日の同和問題の解決に悪い根拠となっているわけです。したがって、この言葉が使われる限り、この言葉についての本当の意味を理解しないで言う限り、同和問題の解決というものは、私はむつかしいと思います。

なぜ、私がこんなことをはっきり言うかといいますと、大正十一年にいわゆる新しく平民になった人たちが京都岡崎の公会堂に集まって国の姿勢や国民の意識が変わらないのに反発して、自らの力で同和問題を解決するため全国水平社という組織をつくりました。

この団体が、その後、この問題の解決に、民間団体として力を持っていくのです。京都に集まったとき、宣言をしているのですが、このなかではっきりした言葉でこう言っています。「部落の解放というのは、自分たちがえた・非人であったことに誇りを持って言えることだ」と、こう言いてあります。

ですから「えた・非人」と言わなければいいということでは、それは逆なんです。「えた」であったということは、私は以前は教授であったということと同じなんですね。それと同じような意識になることが、いわゆる同和問題の本当の解決だと、その全国水平社宣言の真ん中に一行だけ書いてあります。私も、これは今日でも変わらないと思うんですね。

だから、同和問題というのは、さわらなければいいとか、あるいは同和問題があったのに、それを隠しておくとか、そういうことでは永久に日本の同和問題というものの解決はつかないと私は思うわけです。

そういう点で、ただ日本人は、やっぱり依然としてこの〝姓〟といったようなものにこだわるんです。

現在、日本に三千件のいわゆる名前がどういう名前かということを問題にします興信所というのがあります。結婚なんかをするときに、この名前は――とお聞きになる方が後を絶たないんです。

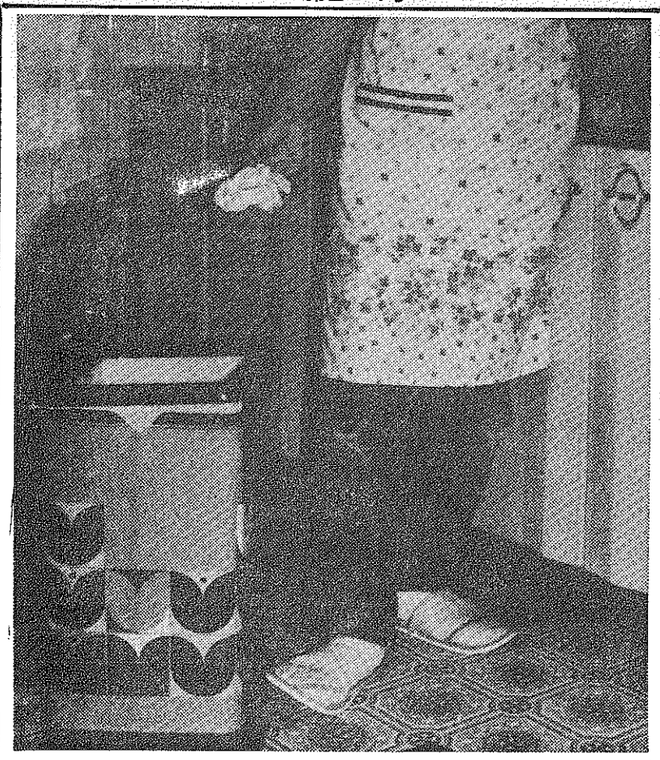
後を絶たないということでは、これはどうにもなりません。これは名前にこだわっているのですから。

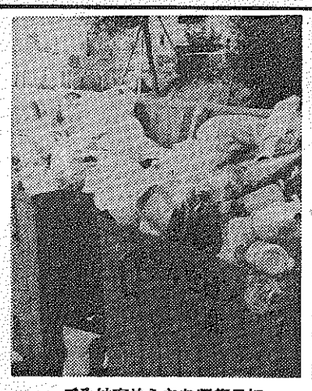
悪いことには、三、四年前に全国の約四千ヵ所に達します部落の地名を書きましたものを印刷して、これを売って歩いたんです。これを「全国特殊部落地名総鑑」といいます。これがまた売れたのですね。

それじゃ、そこで生まれた人はどこへ行くんです？その名前の家は……。こういうものが日本にある限り同和問題というものは解決がつかないと私は思うのです。（第二部おわり）

ごみを追って行くと

たくさんの人が その処理に携わっていた

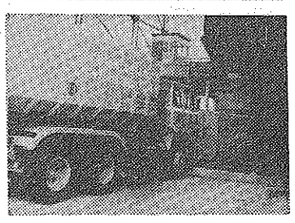




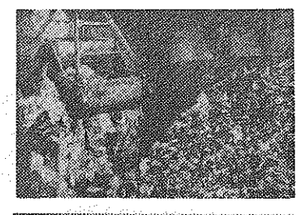
ごみは定められた収集日に定められた集積所へ。

ごみ収集車で手ぎわよく収集。通行車両は、しばらくお待ちください

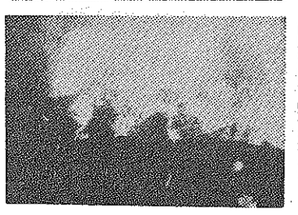
燃やすごみは、一度、沢ごみ中継場に集められます



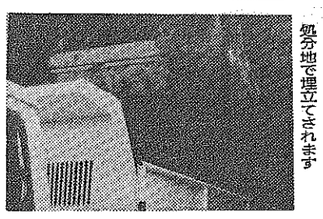
大型コンテナトラックに積み替えて長谷山清掃工場へ



集められたごみは、ごみクレーンで焼却炉へ投入します



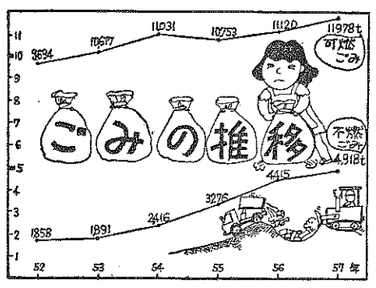
ごみは焼却炉で八百度から九百度の高温で燃やされます



灰になったごみは、奥山埋立処分地で埋立てされます

燃やさないごみは、奥山埋立地で埋立て処分されます

私たちが日常生活を営むなかで絶え間なく排出されるごみ。これらのごみは、年々増加を続け、その種類も実に多種多様――。また、現在では埋立て処分しか方法のない発泡スチロール、プラスチック容器類の増加は、埋立処分地の寿命を急速に短めています。近い将来、人類はごみを捨てる場所を失い、ごみの山にかこまれて生活しなければならない――という事態にもなりかねません。九月二十二日から二十七日までは清掃週間。みんなでごみ問題について考えてみましょう



ちょっと待って！捨てる前に、もう一度、資源として再利用できないか考えてみませんか

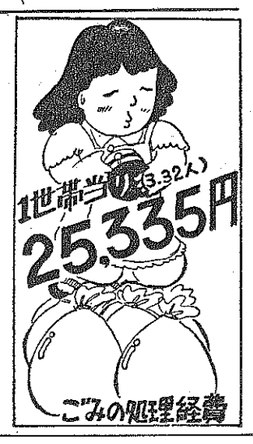
市では、各家庭で〝燃やすごみ〟と〝燃やさないごみ〟に分別されたごみを、燃やすごみは一週間に二回燃やさないごみは二十日間隔で収集しています。こうして収集されたごみは、どのような順序で処理されていくのでしょうか。

ごみが処理されるまで

まず、燃やすごみについてですが、これは本市八幡沢地区にある「沢ごみ中継場」に集められます。このごみは、同中継場で小型収集車なら四～五台分を収容する大型コンテナトラックに積み替えられ、約二十四キロ離れた城陽市長谷山清掃工場へ運び、臭気やばいじん、汚水などの公害を発生させない最新設備のなかで焼却処分しています。

また、燃やさないごみは直接、同清掃工場に隣接する奥山埋立地へ搬入し、燃やしたゴミの灰とともに埋立処分しています。

このように、ごみは多くの人の手を介し、巨額の財源がつぎ込まれた施設や貴重な埋立地で処理及び処分されているのです。



年々増えつづけるごみ

ごみは、年々増加の一途をたどり、収集や焼却経費の増加、埋立地の寿命を短かくしています。

昭和五十二年には九十六百九十四トンだった本市のごみ排出量は、今では一万一千百一十トンにもなっています。（左上の表を参照）

昭和五十年度ごみ処理経費の決算見込み額をみると五億二千八百七十一万一千円に達し、これを一人当り年間処理経費でみると七千六百三十一円、一世帯平均（三・三二人）では実に二万五千三百三十五円も使っていることになります。

ごみ排出量に比例して増加するごみ処理経費――。これに市民のみなさんの大切な税金が、こんなにもつぎ込まれているのです。

ですから、ごみの減量は限られた財源をもっと有効に使い、豊かな暮らしをつくるうえでも、重要なことだといえます。

ごみの減量とその方法

そのごみを捨てるのを、少し待ってください。捨てる前に、「これを生かす方法はないか。リサイクルできないか」と考えてください。ごみ箱に捨ててしまえば、価値のあるものでも、資源として、回収できない〝ごみ〟になってしまうからです。

このことから、資源として生かせるものを、むだにごみにしない――という市民運動が、市内各地で空びんのリサイクルを確立させてきました。空かんについては、市民の理解が深まりつつありますが、資源として回収されるサイクルが確立されていないのが現状です。また、可燃物ごみであるけれども、燃やすと異常高音となって焼却炉をいため、有毒ガスの発生をひき起す発泡スチロールやプラスチック類は、埋立て処分の方法しかなく、資源としての回収の確立が急がれます。

燃やすごみのほとんどは台所から出るごみです。

台所では〝水〟を使うため、ぬれていないごみでも水をかぶってしまいがち。しかし、水にぬれたごみはその量と焼却時間を増やし余分な経費が必要になるのです。

〝ぬれていないごみはぬらさない〟水分を多く含んでいるものは乾かして出す。これをすべての家庭で実践されるだけでも、大幅なごみ減量となるのです。

生かせば資源も 捨てるとごみに

ごみの減量とその方法

そのごみを捨てるのを、少し待ってください。捨てる前に、「これを生かす方法はないか。リサイクルできないか」と考えてください。ごみ箱に捨ててしまえば、価値のあるものでも、資源として、回収できない〝ごみ〟になってしまうからです。

清掃週間の主な諸行事

「清掃週間」は、昭和46年9月24日に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」が施行されたことを記念して制定されました。本市を含む3市3町（八幡市、宇治市、城陽市、久御山町、宇治田原町、井手町）がごみとし尿を協力し処理している城南衛生管理組合でもこの週間の取り組みとして、9月21日に井手町で住民代表、正副管理者及び助役による「ごみとし尿の1日収集員」を、また9月22日には沢第2工場で「清掃問題シンポジウム」を開催します。また、本市では、ごみ収集作業の体験を通して清掃行政に提言をいただくため、9月24日、独自に「一日ごみ収集員」を募集します。（詳しくは、1面下段の募集内容をご覧ください）

園芸ノート ⑥

9月のさつき

六月に差芽したさつきが根を出しています。上旬から中旬にかけて、木箱に三㌢から五㌢ぐらいの間隔で植替えをします。

★かん水　上・中旬までは六・七・八月と同じように一日三回、朝は葉水をかぬて根元までたっぷり鉢底から流れ出るまで与え、昼と夕方は葉水をかぬて与えます。下旬ごろになれば、朝夕の二回でよろしいでしょう。

★肥料　前月と同じく、月一回、油粕を水でねって作った玉肥をスプーン一杯程度、鉢の縁に二～三ヵ所置きます。

★消毒　消毒はスミチオンなどの浸透剤を用い、月二回程度日没後に葉裏から葉先にかけて行います。二回目の散布は、一回目から数えて五～七日後にするとよいでしょう。

資料提供：八幡市老人クラブ連合会花いっぱい実行委員会

八幡市文化センター 開館記念事業のご案内

11月の主な催し

1	火	文化センター竣工式
3	木	文化祭・NHKファミリージョッキー
4	金	文化祭
5	土	NHKのど自慢予選
6	(日)	NHKのど自慢公開録画
7	月	きょうの料理公開録画
9	水	NHKヨーガ教室
13	(日)	市民まつり
23	水	桂米朝一門会
26	土	大阪フィルハーモニー特別演奏会
29	火	映画会
30	水	映画会

NHK FMファミリージョッキー

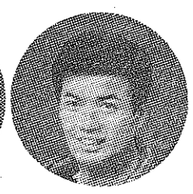
11月3日(木)15：00～16：00
文化センター大ホール
ゲスト：未　定
出演：八幡市婦人合唱団ほか

NHKのど自慢

公開録画（こうかいろくが）　ゲスト

11月6日(日)
開場：正午　開演：午後1時
八幡市文化センター大ホール
放送日：11月27日　午後0時15分～1時

都　はるみ



細川たかし

出場希望の人

往復はがきに住所・氏名・年齢（満十六歳以上）・職業・性別・電話番号と歌う曲名を書いて、郵便番号六〇四・京都市上京区智恵光院丸太町下ル　NHK京都放送局「NHKのど自慢」係へ申し込んでください。十月十七日（月）までに必着のこと。先着三百五十人でしめ切ります。

【予選】　十一月五日（土）午後一時から八幡市文化センター小ホールで予選を行います。この予選で出場者を二十五人にします。

観覧希望の人

往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、郵便番号六一四　八幡市八幡園内七五　八幡市役所気付「NHKのど自慢」係へ申し込んでください。十月十七日（月）までに必着のこと。

なお、申し込み多数のときは、十月十八日の午後二時から市役所四階で抽選会をします。予選の見学は自由にできます。

NHKヨーガ教室

11月9日(水)13：30～
文化センター小ホール
講師：かしい　けいこさん

受講希望の人は、往復はがきに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入のうえ、郵便番号六〇四　京都市上京区智恵光院丸太町下ル　NHK京都放送局「NHKヨーガ教室」係へ申し込んでください。十月十七日までに必着のこと。

きょうの料理 公開録画

どんぶりもののこつ

11月7日(月)　14：00～16：00
文化センター小ホール・講師　土井　勝氏

入場希望の人は、往復はがきに住所・氏名・年齢・職業を記入のうえ、郵便番号602　京都市上京区智恵光院丸太町下ル　NHK京都放送局「きょうの料理」係に申し込んでください。10月17日までに必着のこと。★放送日12月8日（木）　総合テレビ10：05～10：30、16：05～16：30　教育テレビ21：00～21：25

人の通れない歩道
あなたの自転車では？

八幡市駅前広場南側の道路や歩道に、自転車やミニバイクなどが百五十台以上も違法に放置されており、これが歩行者や車の通行に多大な障害をもたらしています。また、五月八日に実施された市社協ボランティアバンクの「障害者と共にまちを歩こう会」でも、車イスでの通行が困難であることが参加者から指摘されています。市では、消防本部、田辺警察署とともに、違法自転車のエフ付け作業や指導、強制撤去をくりかえも行なっていますが、違法駐輪はあとを絶ちません。今後、自転車などの不法駐車や乗りすてなどは絶対にやめるよう、強く訴えるものです。

八幡市駅前

自転車置場が拡張オープン

勤労者の通勤上の利便をはかるため市が進めていた、八幡市駅前の無料自転車置場（京阪電車科手踏切の北約百㍍にある市営駐車場内）の整備工事が八月二十日に完成し供用を開始しています。

同工事で、三二二・一平方㍍が増設され、広さ九〇〇・六平方㍍、約五百三十台の自転車を収容することができます。また、入口を二カ所から三カ所にし、出入りしやすくなっています。通路は一・五㍍と従来よりも広く、自転車の出し入れが容易になりました。

自転車は必ず、所定の自転車置場へ入れてください。

なお、自転車置場を使用する場合、主に次の点に注意してください。

▽自転車などには、盗難防止用の鍵をかけておくこと。置場には長期間、放置しないよう心がけること

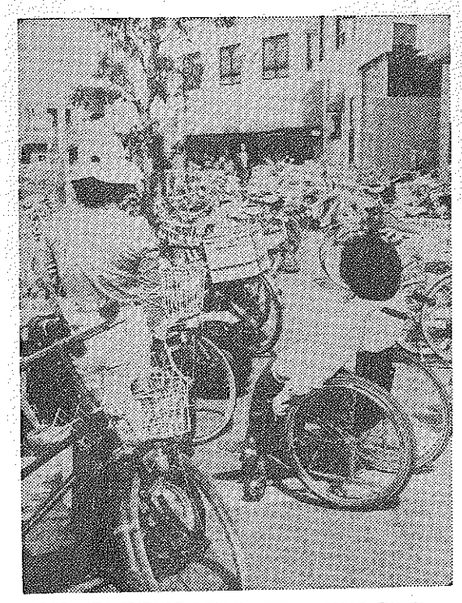
▽整理整とんして、一台でも多くの自転車が置けるようにに工夫すること

▽入口近くに乱雑に置かないこと

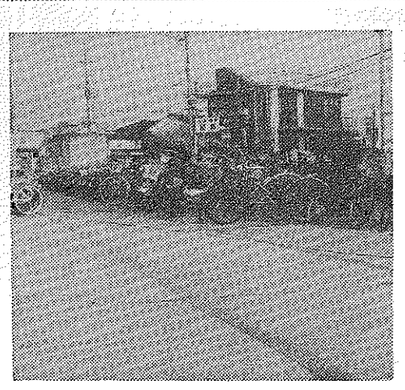
▽ゴミなどを投げ捨てしないできれいに使うこと

▽少し早めに起きて、余裕をもって出勤すること

などです。」



八幡市駅前広場南側の歩道に放置されている自転車ミニバイクで車イスでの通行が困難になっています



このほど拡張オープンした自転車置場には533台の自転車やバイクが置けるようになりました

勤め帰りに納涼相談を利用

件数は六十三件

日ごろ市役所に訪れる機会の少ない市民のみなさんの意見をまちづくりに反映していこう――と市では、八月二十二日から三日間京阪八幡市駅、くずは駅、橋本駅で納涼市民相談を開きました。

同相談は、昭和四十四年から毎年八月に開いているもので、勤め帰りのサラリーマンや夕涼みがてらの市民のみなさんが気軽に利用されました。

今回、出された意見や要望は▽公園の管理▽ゴミ問題▽道路の舗装▽医療問題▽下水道計画など六十三件ありました。

市では、これらの意見や要望を十分検討し、これからのまちづくりに生かしていきます。

今後も市民のみなさんの建設的なご意見をお願いします。

訪れた市民のみなさんからは、まちづくりを進めるための大切な意見がつぎつぎに出されていました（橋本駅前で）

観光農園で楽しむ秋の味覚

ナシ狩り始まる

初秋の味覚が食べ放題の「観光なし狩り」が、今年も八月十七日にオープンし、連日、家族連れや若者たちでにぎわっています。

また、九月十五日からは、岩田地区と川口地区で「観光いもほり」もオープンします。

青空のもと、あなたも秋の味覚を楽しんでみませんか。利用方法は次のとおりです。」

【なし狩り】　開園は午前九時から午後四時まで入園料は大人八百円、小人六百円。九月三十日まで。問い合わせは（☎九八二一四五七四）

【いもほり】　開園は午前九時から午後四時まで料金は一株百五十円。九月十五日から十一月三日まで。予約制。問い合わせは（☎九八一一一三〇一・九八一一三六〇一）

ハンドル持つ手も緊張ぎみ

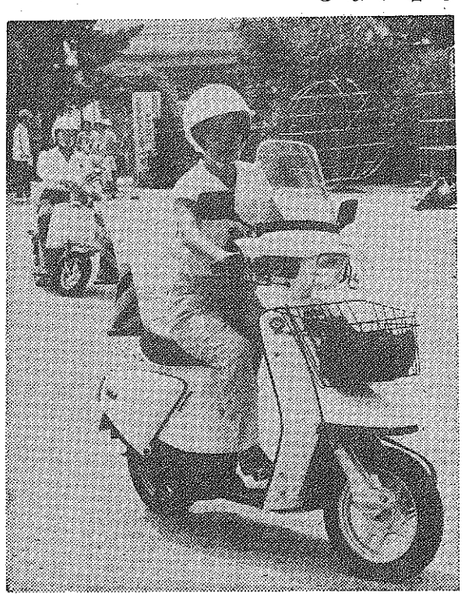
ミニバイク講習会

市交通安全都市推進協議会（小里光男会長）主催の「ミニバイク実技講習会」が、八月二十五日有智郷市民センターで開かれました。

最近、簡単に免許が取得でき便利な乗り物として、ミニバイクの利用者が増加しています。その反面、運転技術が未熟な人が多く、昨年だけでも本市で六十五件ものミニバイクの事故が発生し、三人の尊い人命が失われました。このいたましいミニバイクの事故を少しでもなくそうと、同講習会が企画されたものです。

この日、田辺警察署、綴喜交通安全協会、二輪普及協会らの関係者から指導を受けたのは、有都小育友会員をはじめ二十六人の主婦のみなさん。

ゼッケンとヘルメットを身につけ、服装の注意とバイクの仕業点検を学んだ参加者は、実技講習にチャレンジ。会場にはスラローム（等間隔に障害物を置きその間をくぐる）と一本橋（幅三十㌢㍍程度の板を渡たる）の障害が設けられ、参加者は、慎重な面もちでハンドル操作を繰りかえしていました。」



障害物をくぐる実技訓練は意外とむつかしく、バランスをくずした参加者に指導員から注意がされていました

川口地区に水防砂置場完成

災害防止に威力

川口地区の木津川堤防敷に、出水時などの災害防止のためにつくる土のう用の土砂置場と作業場が完成しました。

この土砂置場は、市内六カ所ある水防倉庫の中間に位置する「川口水防倉庫」の横に、建設省の占用許可を得て設置したもので、大きさは幅八㍍、九㍍、奥行三㍍。三方にはコンクリートブロックを一・二㍍の高さに積み上げています。また、土砂の量は三十立方㍍で、土のうが二千四百個つくれる量です。

昨年八月の台風10号が襲来したときは、各小学校の砂場の砂をさらえた苦い経験もあり、〝これで出水時には迅速な水害防止作業ができる〟――と、関係者から期待が寄せられています。

市社協の会長に中嶋芳造氏

市社会福祉協議会会長の奥村誠二氏が、八月二十五日付で退任されました。長い間ごくろうさまでした。

同協議会の理事会が、同日に開催され、中嶋芳造氏が会長に就任されました。

男山美桜に郵便局ができる

9月16日に開局

住民の要望がみのり、男山美桜地区に郵便局が九月十六日から開局します。所在地は次のとおりです。

▼所在地　男山美桜五―三〇（北センター東側）

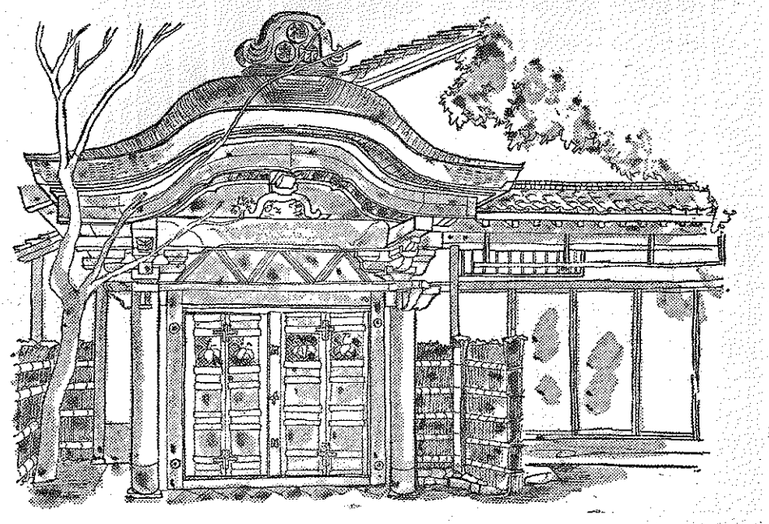
火災・救急統計

58／1～7累計	57／1～7累計
救急件数 721件	733件
搬送人員 758人	779件
火災件数 17件	31件

市物価モニター価格調査の結果報告（8月分）

※前月比の△印は、値下り表示（単位：円）

品目	規格容量	高値	安値	平均値	前月比	市平均	外値
即席ラーメン	100g袋入り	72	60	68	3	72	
マヨネーズ	300gポリ容器入り	230	200	227	11	214	
ケチャップ	300gポリ容器入り	228	195	211	△ 4	212	
サラダ油	1650gビン入り	638	434	537	15	479	
白砂糖	1kg袋入り	285	230	254	0	254	
みそ	1kg袋入り	338	285	316	1	286	
インスタントコーヒー	150gビン入り	1,020	798	954	△ 22	865	
牛乳	1ℓ紙パック入り	250	168	212	5	195	
バター	225g箱入り	390	350	377	△ 3	364	
小麦粉	1kg袋入り	230	175	211	4	207	
醤油	1ℓ濃口ポリ容器入り	290	225	258	4	231	
鶏卵	Mサイズ10個パック入り	195	145	174	1	159	
キャベツ	1kg	250	100	198	95	224	
タマネギ	1kg	200	100	155	15	168	
ジャガイモ	1kg	380	180	255	11	218	
洗濯用合成洗剤	2.65kg箱入り（無リン）	910	850	903	0	910	
台所用洗剤	380mℓポリ容器入り 中性洗剤液	188	140	165	3	165	
ガソリン	レギューラー1ℓ現金売	143	140	141	△ 4		
軽油	1ℓ掛売り	112	105	108	△ 1		
灯油 持帰り	18ℓカン入り	1,700	1,584	1,635	△ 12		
灯油 配達料込み	18ℓカン入り	1,700	1,650	1,666	△ 2		



やわた散策

桃山文化の粋を集めた書院建築

―42―

松花堂（しょうかどう）②

松花堂庭園西側にある書院はもと男山泉坊の客殿であって、永禄三年（一五六〇）の建築、小早川秀秋の寄進によるものと伝えられている。玄関の車寄せは桃山城の遺構ともいわれ、扉の桐の薬の彫刻は豊臣秀吉から拝領したものといわれている。棟の破風瓦には福〝禄・寿の三字が入っている。これは寛永の三筆と称された近衛応山尋、本阿弥光悦、松花堂昭乗の筆をとったものである。

玄関から奥へ進むと梅の間、柳の間を経て奥の間へと続く。柳の間には山と浪の彫刻を施した欄間がありこれは昭乗作といわれている。

さらに進むと主室の間と控えの間に達する。主室の間は九畳敷で上段の間には違棚があり、折上小組格天井を張った本格的な書院造りの座敷である。襖には狩野山楽筆といわれる水墨山水図が描かれている。

なお、主室の間は別名玉座の間ともいい、後陽成天皇、考明天皇がしばしば行幸になり、東方の宇治の山並から昇る日の出を借景とした前庭の雄大な景色を賞されたという。

現在の書院は昭乗在世の当時そのままのものではないが、旧記・古図などと比較しても当初の面影をよく伝えており、桃山時代書院建築の好例とされている。

うその宣伝 トイレ排臭機販売にご注意

最近、市消費生活相談窓口に「トイレの電動排臭機」の訪問販売について、苦情が多く寄せられています。相談事例を紹介しますので、消費者が被害にあわないように役立ててください。」

▼相談事例▲

セールスマンが市で調べてきたというので信用したところ「市の水洗化は、まだまだ時間がかかり、このままほっておくとメタンガスが発生して便槽内にひび割れが生じたいへんなことになる」と、長時間ねばるのでトイレの電動排臭機を付け替えてもらい現金一万六千円を支払いました。

ところが、商店で同じような機具が五、六千円で売られており取り付けも簡単にできる物でした

訪問販売で買った物が高すぎるので解約できないだろうか。

（無職　七十才）

▼回答▲

トイレの電動排臭機は「訪問販売等に関する法律」の指定商品ですから代金を全額支払わずに契約している場合は「クーリング・オフ」の適用をうけ無条件で解約できます。しかし、事例のように全額現金払いをしてしまった場合は、残念ながら解約できません。

また、価格については市販では確かに安価で売られていますが、工事費込みということもあり一概に価格を他社の製品と比較することはできません。昨年十月にも「世帯主の了解を取っている」とうそのセールスで四万八千円の被害にあった事例をはじめ、今回と類似した被害が市内で三件も発生しています。

被害の手口を紹介しますと、▽「従来のものでは、建設省の許可がおりなくなる」などのうそのセールスをする▽最初にはっきり説明がされずトイレの点検サービスに来たと思ったら付け替え代金を請求された▽くみ取りに来たと思っていたら高額な排臭機の代金を請求された――などのケースがあります。

▼上手な対応を▼

少しでも不信に思ったら（水洗化や便槽のことなど市役所へ問い合わせれば、すぐうそだとわかるはず）その場で契約せずに納得してから契約することが必要です。また販売員が来たら必ず先に用件を聞くことです。

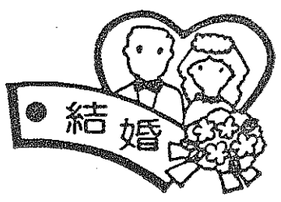
訪問販売の商品は、その時でないと買えないと思いがちですが、絶対にそんなことはありません

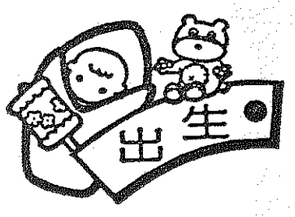
また、強引な売り方に対しては、はっきり「いりません」と断ることです。それでも帰らない時は、「押し売り」として警察の防犯課が対処してくれます。すぐに一一〇番にダイヤルすることです。

訪問販売に関する苦情は増え続けています。セールストークにだまされたと言う前に、消費者自身が、もう一度、考えて慎重に契約問題を取り扱ってください。

商品、サービスに関する苦情、相談は市民課消費生活相談窓口（☎九八三一一一一一内線二五六）で扱っております。

おめでとうございます





昭和58年6月届出分

区	本人	届出人
竹園香呂	小林　正史	利正
竹園香呂	菅　直也	三弥
三　区	浜田　大祐	博道
竹園香呂	小池　麻衣	康文
男山地区	松永　直也	一夫
金振区	徳永あゆみ	智也
男山地区	今道　一孝	寛
男山地区	今道　健太	寛
石城弓岡	野島　早織	一男
男山地区	渡辺　信也	一弘
三　区	通堂　真	満
竹園香呂	貞包　和彦	幸俊
竹園香呂	川久保貴文	智
男山地区	山田　琢馬	高臣
男山地区	澤田　彩子	舞雄
竹園香呂	小林　幸嗣	義明
竹園香呂	堀　雄二	順二
男山地区	森田眞希子	哲朗
下　区	本田　靖博	研治
石城弓岡	神野麻衣子	伸二
男山地区	髙木　茂	良治
二　区	井上　慶祐	良太郎
男山地区	桑原　小巻	達造
石城弓岡	橋本　由佳	健
一　区	山之口綾美	祐二
男山地区	戸田　悦子	悟
六　区	辻元はるか	義春
石城弓岡	加藤　寛也	直樹
男山地区	鈴江　秀行	徹夫
男山地区	今井　拓哉	辰彦
竹園香呂	吉田　淳一	光男
竹園香呂	藤本奈津子	敏朗
三　区	大崎あゆみ	茂夫
竹園香呂	家崎　明子	孝治
石城弓岡	河内　博哉	秀朗
金振区	石川　陽	修
石城弓岡	潟永　裕之	正博
一　区	岡西　優美	政広
石城弓岡	八尾　智大	康興
男山地区	熊野　大樹	常光
男山地区	石光麻衣子	豊
三　区	高村　洋史	幸雄
石城弓岡	竹森　洋平	昭夫
三　区	奥崎　真夢	健之
上　区	巽　香保里	静枝
二　区	坂西　民恵	幸人
男山地区	暦口　忠繁	光晴
四　区	安藤　嘉章	康裕
竹園香呂	山上紗代	勤
石城弓岡	川越　崇伸	秀徳
三　区	佐藤　奨	晴彦
男山地区	鄂　和宏	史郎
六　区	吉本　真子	孝仁
二　区	高山　陽子	茂行
金振区	福永　大毅	功

区	本人	届出人
石城弓岡	佐藤　匠	稔
三　区	久保　友香	博明
竹園香呂	國廣　幸江	忠好
石城弓岡	黒岩　絵里	繁勝
石城弓岡	坂口真梨美	幸夫
男山地区	吉岡　由佳	勝
竹園香呂	野田　一就	一彦
男山地区	菊池　千絵	格
三　区	辻　志秀	清孝
石城弓岡	浅井　美希	賓一
男山地区	平井香菜子	昭治
四　区	工藤　圭太	義三
石城弓岡	田近　三保	明
男山地区	田島　英樹	一英
石城弓岡	武田麻衣子	英敏
竹園香呂	成本　賢治	清志
一　区	武富　奈穂	千城
戸津区	佐野　寿治	梅次
六　区	福田　展雄	浩二
一　区	吉村公美子	誠
男山地区	芦澤　元子	一志
四　区	太村　和也	義秀
五　区	持山　智浩	泰雄
男山地区	雲出　典子	英生
五　区	山下　知秀	幸夫
男山地区	清井　真央	義友
男山地区	井上　雄介	眞二
男山地区	加藤　沙紀	富士男
美濃山区	齋藤　美絵	正勝
二　区	服部　静	正行
男山地区	柴田　泰子	曠
四　区	北川　利憲	清武
六　区	道本　陽三	喜隆
四　区	菊岡由希子	三彦
中　区	八野　英一	功
男山地区	東山　梓	猛
一　区	井上　光裕	光男
内里区	津野　匠吾	和彦
男山地区	松本　和哉	正一
竹園香呂	井福　千博	忠吾
四　区	樋上　尚也	和喜
男山地区	北垣内　梓	博文
石城弓岡	久保　晶子	壽男
石城弓岡	松川明日美	仁
竹園香呂	山岡　美月	一司
四　区	山竹　志穂	英宣
吉井松里	乾　桃子	光男
男山地区	永山　和哉	敏雄
男山地区	柿添　芙美	重光
五　区		

先月号（二三三号）掲載の出生欄で名前に誤りがありました。おわびして次のとおり訂正します。

三　区　塚本　順子　修

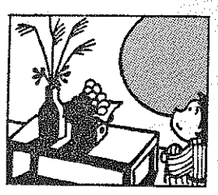
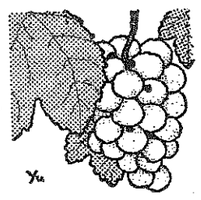
区	本人	届出人
五　区	上野　健治	刀彌　保子
竹園香呂	古賀　隆	大森　昭子
男山地区	福安　洋一	川口まり子
石城弓岡	中川　功	森　利憲
竹園香呂	西田　哲郎	大和田清子
四　区	和田慈三郎	荒品田美子
一　区	梁本　哲	大段満希子
中　区	水谷　鉄夫	島　眞弥江
三　区	小松原　透	竹田　香果
三　区	前田　誠司	竹田多加代
三　区	中住　正俊	安部裕里子
男山地区	瀧川　正行	槇田ゆうき
男山地区	大場　敏夫	山口　孝子
竹園香呂	中尾　正一	源野　眞弓
一　区	三根　克秀	岩永　早苗
男山地区	長谷川雅敏	山下　和子
三　区	岡崎　祐治	西田　照美
一　区	堀江　雄司	中山　美佐
男山地区	今井　雅之	廣岡　昌子
三　区	児島　完二	宮田　裕美
二　区	西山　務	田代　安美
石城弓岡	仲山　広久	青山　純子
金振区	佐伯　拓郎	東田　繁子
竹園香呂	朝日　豊	濱田　貴子
一　区	篭原　誠彦	小林　真子

区	本人	届出人
男山地区	嚴　雅博	吉倉　美紀
六　区	福嶋　剛	吉田眞美子
石城弓岡	雰ノ海輝彦	田中　憂
一　区	平本　武	濱口　悦子
竹園香呂	切原　健治	長谷川美子
一　区	梅谷　隆雄	湯浅　由子
六　区	道原　彰夫	関西久美子
一　区	前川　忠雄	松永　真弓
男山地区	山岡　隆	吉田　充美
六　区	東　義彦	岩井　佳子
六　区	柴垣　弘	吉村　順子
石城弓岡	古賀　正光	前田　敏子
三　区	奥村　卓巳	舌　義代子
石城弓岡	竹内　稔	下村　逸子
四　区	木下　恒則	西村　映子
竹園香呂	内藤　雅男	山崎美輝子
男山地区	田中　浩三	川瀬　康美
男山地区	平賀　典之	嘉波　純子
石城弓岡	冨田　康弘	足立　恭美
三　区	喜峯賢一郎	亀尾　康子

先月号（二三三号）掲載の結婚欄で住所に誤りがありました。おわびして次のとおり訂正します。

下　区　宮川　一隆　久保田千明

9月 旅モカレンダー

1（木）	**幼児教育学級を開催** ▶日時　9月27日午前9時から正午 ▶場所　男山公民館 ▶テーマ　幼児期のしつけ ▶講師　大槻延子さん（徳風学園報徳幼稚園長）
2（金）	
3（土）	
4（日）	第2回理事長杯男子ソフトボール大会（9：00〜16：30）かわきた公園 第6回理事長杯社会人軟式野球大会（9：00〜17：00）くすのき公園 近隣市町婦人ソフトボール大会（9：00〜17：00）さつき公園
5（月）	
6（火）	法律相談（13：30〜）市役所1階相談室 機能回復指導（14：00〜16：00）八寿園健康室
7（水）	
8（木）	点訳講座（13：30〜15：30）市役所4階第1会議室 手話奉仕員養成講座（19：30〜21：00）市役所4階大会議室 白露
9（金）	救急の日
10（土）	心配ごと相談（10：00〜16：00）市役所1階相談室 心配ごと相談（19：00〜21：00）南ケ丘隣保館 全国下水道促進デー
11（日）	第3回市柔道大会（9：00〜16：00）男山中学校体育館
12（月）	ボランティアスクール（13：30〜15：30）男山公民館
13（火）	家庭児童相談室出張相談（10：00〜15：00）男山公民館
14（水）	
15（木）	第6回市長杯硬式テニス大会（9：00〜17：00）さつき・くすのき・有智郷市民各テニスコート 八幡八景モデル撮影会（10：00〜）さくら公園他 敬老の日
16（金）	
17（土）	テレビ広報「わがまち　やわた」再放映（17：00〜17：15）KBS京都 機能回復指導（14：00〜16：00）八寿園健康室
18（日）	
19（月）	
20（火）	法律相談（13：30〜）市役所1階相談室 第2回健康学級（13：30〜15：30）母子健康センター 婦人学習会（10：00〜12：00）市役所4階大会議室
21（水）	ボランティアスクール（13：30〜15：30）男山公民館 環境衛生週間（〜30日） 十五夜
22（木）	点訳講座（13：30〜15：30）市役所4階会議室 手話奉仕員養成講座（19：30〜21：00）市役所4階会議室 家庭児童相談室出張相談（10：00〜15：00）男山公民館
23（金）	体育振興会会長杯総合開会式（9：00〜12：00）男山中学校グラウンド 秋分の日
24（土）	1日ゴミ収集員（9：00〜） 結核予防週間
25（日）	心配ごと相談（10：00〜16：00）市役所1階相談室 第7回市長杯家庭婦人バレーボール大会（8：00〜16：00）男山中学校 綴喜郡婦人スポーツ大会（9：00〜）八幡小学校グラウンド
26（月）	
27（火）	文学講演会「源氏物語を読む楽しみ」（10：00〜12：00）市民図書館 幼児教育学級（9：00〜12：00）男山公民館
28（水）	
29（木）	手話奉仕員養成講座（19：30〜21：00）市役所4階会議室
30（金）	

<9月のひと口メモ>
【月異名】
- 長月（ながつき）
- 菊月（きくづき）
- 夜長月（よながづき）
- 小田刈月（おだかりつき）　など

【時候のあいさつ】
- 残暑ようやくおとろえ
- 涼味とみに加わり
- 朝夕めっきり涼しくなり　など

お知らせ

第1回八幡市陸上競技大会
参加者を募集中

市と市体育振興会では市民の競技力向上及び人材の発掘と育成に努め、あわせて競技を通して市民相互の親睦をはかるため「第一回八幡市陸上競技大会」を開催します。

大会への参加要領は次のとおりです。

▼日時　十月十六日（日）午前九時三十分から午後四時（雨天の場合は十月二十三日）
▼会場　男山中学校
▼参加資格　市内在住者及び市内の事業所に勤務している人
▼競技種目（左表参照）
中学生以上だれでも参加できる個人参加種目と、区や自治会を通じて参加者を選出する種目があります。ただし、区や自治会のない地域（男山長沢男山泉、男山指月の一部男山美桜）の人については、はがきでお申し込みください。
▼申込方法　はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、出場種目を記入し、市役所社会教育課（八幡市八幡園内七五）へお申し込みください。なお、参加申込者には、後日個人通知します。
▼しめきり　九月十四日
▼お問い合わせ　市役所社会教育課

個人参加（中学生以上）

	種目	性別		参加者年齢別区分等
トラック種目	800m	男		20歳未満、20代、30代、40歳以上
	1500m		女	20歳未満、20歳以上
	3000m	男		20歳未満、20代、30代、40歳以上
	100mハードル		女	20歳未満、20代、30歳以上
	110mハードル	男		20歳未満、20代、30代、40歳以上
	マラソン	男	女	男子(8000m)：30歳未満、30代、40歳以上 女子(6000m)：フリー
フィールド種目	走高跳	男	女	男子が1.20m以上、女子が1.10m以上跳べることが条件です
	走幅跳	男	女	フリー
	砲丸投	男	女	フリー（砲丸は男子が4.0Kg、女子が2.7Kgを使用）

区、自治会を通じて参加者を選出

	種目	性別		参加者年齢別区分等
トラック種目	100m	男	女	小学5年生、6年生、中学1年生、2年生3年生、20歳未満、20代、30代、40歳以上
	200m		女	中学生以上20歳未満、20歳以上
	400m	男		中学生以上20歳未満、20歳以上
	400mリレー	男	女	中学生以上20歳未満、20代、30代、40歳以上（チーム単位で申し込むこと）

スポーツ

軟式庭球大会の参加者募集

第七回体育振興会会長杯争奪軟式テニス大会の参加者を次のとおり募集します。

▼日時　十月九日（日）午前九時から（雨天は十六日に実施）
▼会場　さつき、有智郷市民各テニスコート（開会式は午前九時から、さつきテニスコートで行います）
▼試合方法　男女別ダブルストーナメント方式
▼参加資格　市内在住の中学生以上の人、市内の事業所に勤務している人
▼申込方法　はがきに住所、氏名、電話番号、軟式テニス大会参加希望と記入し市役所社会教育課まで（個人でも、ペアで申し込まれてもかまいませんが、中学生は必ずペアで申し込んでください）
▼しめきり　九月二十三日（当日必着のこと）
▼参加費　一般（一人）三百円、中学生ペアで三百円（当日会場にご持参ください）

ボランティアについて学習

市社協ボランティアバンクでは、会員の相互理解とボランティアに対する基礎的な知識を得るため、次のとおり「ボランティアスクール」を開講しています。福祉の輪をさらに広げるため、多数ご参加ください。

なお、時間、会場、講師は各回共通です。

■九月十二日（月）■「心身障害者や老人に対するボランティア活動の実際」
■九月二十一日（水）■「ボランティアの組織づくりと運営法」
▼時間　午後一時三十分から三時三十分
▼会場　男山公民館一階第二会議室
▼講師　野上芳彦氏（京都嵯峨大学教授）
▼お問い合わせ　市社会福祉協議会事務局（☎九八二一一一一内線二九二）

肥満と食生活について学習

第二回健康学級を開催

肥満の人は普通の人より糖尿病、高血圧、心筋障害などの病気にかかりやすく、比較的短命であることが知られています。肥満の人がなぜ病気にかかりやすいかというと、十キログラムふとりすぎの人は常に十キログラムの荷物を持ち歩いて生活しているのと同じ負荷がかかるからです。

肥満を予防し、また解消して健康を保持するために、次のとおり健康学級を開きますので多数参加してください。

▼日時　九月二十日（火）午後一時三十分から三時三十分
▼会場　毘子健康センター
▼講師　中村敦子先生（元京都府立医科大学生理学教室助手）

源氏物語についての講演会

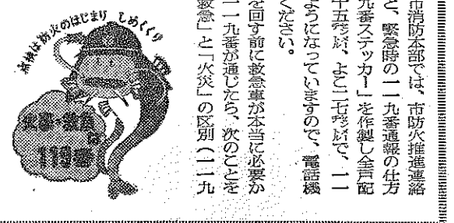
市連合婦人会では、文学講演会「源氏物語を読む楽しみ」を次のとおり開催します。

平安時代の宮廷生活を中心に世相を描写したこの有名な古典

9月9日は「救急の日」
早く、そして正確に

九月九日は「救急の日」です。市消防本部では、市防火推進連絡会の協力を得て、防火意識の向上と、緊急時の一一九番通報の仕方を周知徹底してもらうため「一一九番ステッカー」を作製し会員配布します。同ステッカーは、たて十五センチ、よこ二七センチで、一一九番の通報の仕方が一目で分かるようになっていますので、電話機のそばなど見やすい位置に貼ってください。

〈救急車を呼ぶとき〉　一一九番を回す前に救急車が本当に必要かどうか考えてみましょう。次に一一九番が通じたら、次のことを落ち着いて知らせましょう。①「救急」と「火災」の区別（一一九番は、救急車を呼ぶためだけではありません）②来てほしい場所の住所とその目標となる建物など（自宅の電話口には住所を書いておくと便利です）③事故や病気の種類　④患者の姿、年齢、性別　⑤患者の容態（意識がない、呼吸がないなど）



催し

身障者巡回更生相談を実施

京都府身体障害者更生相談所では、身体障害児・者に対し、巡回して医学的判定と更生に必要な相談に応じています。

身体障害者手帳の交付、等級変更、補装具の給付を受けたい人や生活や仕事の問題でお困りの人は、次のとおり巡回更生相談を行いますのでご利用ください。

▼日時　十月十三日（木）午後一時から三時
▼会場　毘子健康センター
▼実施内容　医学的判定、医療相談（整形外科、耳鼻咽喉科）補装具適合判定、補装具相談、理学療法・作業療法相談、日常生活に関する相談

婦人学習会を開催します

市教育委員会と市連合婦人会では、八幡における教育問題をテーマとした学習会を次のとおり開催します。

お誘い合わせのうえ、多数参加してください。

▼日時　九月二十日（火）午前十時から正午
▼会場　市民図書館
▼講師　福嶋昭治氏（龍谷大学女子短大学部助教授）

八幡音頭をならいませんか

地域での体育祭やお祭りで八幡音頭を踊ってみませんか。市教育委員会では、各地域での同音頭普及のため、次のとおり振り付けの講習会を開催します。

今回、振り付けが新しくなり老若男女を問わず、簡単に踊れるものになりました。地域やサークルで八幡音頭を踊ってみようと思われる人は、気軽にお申し込みください。

【男山公民館】
▽日時　九月二十六日（月）、二十九日（木）　午後七時から九時　▽定員　五十人

【有智郷市民センター】
▽日時　九月二十日（金）、十月六日（木）　午後七時から九時　▽定員　五十人

▼講師　土岐倉英夫氏（公民館講座郷土舞踊教室講師、八幡音頭振り付け者）
▼受講　無料
▼申込方法　往復はがきに住所、氏名、電話番号、八幡音頭講習会参加希望と記入し市教育委員会社会教育課（八幡市八幡園内七五）までお申し込みください。
▼しめきり　九月十九日（当日必着のこと）
▼その他　市では八幡音頭の浴衣と帯を貸し出しています。数に限りがありますので、早めに社会教育課にお申し込みください。

府の施設見学会にあなたも

田辺地方振興局

京都府では、府内の主な施設を大型バスで巡回し、府政に対する理解と認識を深めてもらうとともに、府政に対する意見を聴き、今後の府政に反映させる目的で、次のとおり「施設見学会」を実施します。

▼実施日　十月二十五日（火）（雨天の場合も実施します）
▼見学先　府立農業総合研究所、るり渓自然公園、府立丹波自然運動公園
午前九時三十分に八幡市役所前に巡回バスが停まります。
▼対象者　満二十歳以上で、八幡市、綴喜郡管内に居住する人
▼定員　五十人
▼申込方法　はがきに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記入し田辺地方振興局（〒六一〇一〇三　綴喜郡田辺町田辺朗田一）までお申し込みください。
▼申込期間　九月十六日から三十日（当日消印まで有効）

調理師試験申込願書を受付

福和五十八年度第二回調理師試験の願書を次のとおり受け付けます。

▼願書受付期間　九月五日（月）から九月九日（金）まで。ただし、土曜日の午後及び日曜日は除く。受付時間は、午前九時三十分から正午、午後一時から四時まで。
▼受験願書提出先　田辺保健所または、京都府庁別館三階衛生部会議室（郵送による受付はいたしません）

なお、受験願書は市役所衛生課にあります。

▼試験日時　十月二日（日）午後一時三十分から三時三十分
▼試験場　関西文理学院（藪馬口校）
▼問い合わせ　田辺保健所（☎〇七七四六―三―五七四五）

害虫駆除ワンポイント③

ムカデ

本紙で不快害虫について、その生態と駆除法を掲載しています。今回は、ムカデについて載せますのでその対策に役立てください。

また、地域において異状に発生した場合は市役所衛生課（☎九八三―一一一一）までご連絡ください。

【生態】　体は細長く、頭部に続く胴部は多数の環節から成り、各胴節には一対の歩脚があります。体長は二〇〜五〇㎜で日本では八十種類以上が知られています。

土壌の表層付近や朽木、水分の多い土中などに生息しています。すべてが食肉性で、あごに毒腺を備えており、進んで人間を攻撃することはありませんが、刺されると激しい痛みがつきます。熱帯地方では、まれに致命的な害を与えることもあります。

【駆除法】　一般的に乾燥に弱いので、ムカデの生息している落葉やゴミ、たい肥などがある場所を清掃し、日当りをよくすることが第一です。屋内に侵入する恐れがある場合などは、フェニトロチオンやダイアジノンなどの薬品を家の周囲に帯状に散布するとよいでしょう。

なお、薬品については、薬剤師に相談してください。

募集

その他

秋の味覚と〝まちを知る会〟

市では、ふるさと八幡を知ってもらうために〝まちを知る会〟を開催しています。

今月は、観光いも掘りを楽しむ半日コースです。参加希望の人は、電話でお申し込みください。

▼日時　九月二十三日（祝日）午前九時から正午まで
▼集合　市役所四階第三会議室
▼定員　二十五人（先着順）
▼主な見学場所　高良神社、安居橋、流れ橋、観光いも園、円福寺山門、松花堂
▼参加費　いも掘りが料五百円が必要です。
▼その他　いも掘りができる軽装で参加をお願いします。
▼申込先　秘書広報課（☎九八三―一一一一内線三〇九・三一〇）

11月に実施します
愛老会・敬老会

市社会福祉協議会では、本年度の「愛老会」「敬老会」を次のとおり実施します。

【愛老会】　11月15日（火）　〈対象者〉明治42年から大正3年生まれの人
【敬老会】　11月24日（木）　〈対象者〉明治41年以前に生まれた人

なお、会場はいずれも市文化センター大ホールです。

八寿園で機能回復指導を実施中

満60才以上の老人と肢体障害者が対象

市では、老人と肢体障害者の健康を守り、機能回復を図るとともに相互交流の輪を広げるため、八寿園の健康室で理学療法士と作業療法士の指導による機能回復指導を行なっています。お気軽にご利用ください。

▶対象　満60歳以上の老人及び身体障害者手帳を所持している肢体障害者
▶日時　毎月第1火曜日と第3土曜日　午後2時から4時
▶参加申し込み　老人は随時参加できます。肢体障害者は、市役所福祉課（983―1111内線229）に申し込んでください。
▶その他　老人は指導開始前に血圧測定を行います。肢体障害者は、指導を受けてもよい旨の主治医の診断書が必要です。

また、現在、身体障害者に八寿園の健康室を開放して、健康機器やゲームを楽しんでいただいています。利用される人は、受付で身体障害者手帳を提示してください。

図書館だより

【児童図書室】

「ねずみのかいすいよく」
山下明生作・岩村和朗絵

ちゅうがっこうの七つ児たちは、いよいよ夏休み。きょうはおにぎり作って電車に乗って、さあ、海水浴です。

いろいろあったけど、遊びつかれた帰りの電車、こっくりこっくりご苦労さん。

「猟山（ねこやま）」
斉藤隆介作・滝平二郎絵

イワナ釣りをしていた三平は山の中で道にまよってしまいました。あたりは深い森、そして夜――。やっと明りを見つけてひとばんとめてもらうことにしました。ところが、その家は猫（ねこ）ばばの家だったのです。

「じゃんけん　じゃらすけ」
おだ　のぶお作

むかしむかし、ある村にジャンケンの好きなこどもがいて、朝から晩までジャンケン、ジャンケン。勝ったといっては「もう一かい」、負けたといっては「もう一かい」。

とうとう母親は、こどものジャンケンをやめさせようとお寺にこどもをあずけました。ところが、ぼうさんまでが……。

「くしゃみくしゃみ　天のめぐみ」
松岡享子作

むかしむかし、そばに居合わせた人はもちろん、牛や馬までふきとばすほどのクシャミをする母親がいました。

母親のクシャミがすごいのでなかなか息子に嫁がきません。そこでこの息子は、母親に山のむこうの村まで自分をくしゃみで飛ばしてくれとたのみました。

飛んだ、飛んだ、ところが、むこうの村では先から人が降ってきたと大さわぎです。

「ちんまい分校」
太田征治写真・文

高知県にある横瀬分校の六年間にわたる取材記録です。

「子どもの後からあと押しするような形で、子どもの自学精神を育てていく横瀬分校の教育に、ぼくは共感するのです。子どもたちの思いやりのあるやさしい心根に、ぼくは感動するのです」と、著者。お父さん、お母さん、大人のみなさんもぜひ一読をしてください。

【成人図書室】
カラーで読む関ケ原合戦
スペース（上・下）　T・ミッチェナー著
レパードを取り戻せ　クレイグ・トーマス著
箱根の街　ぼあは
彩り河（上・下）　松本清張著
妖女のねむり　泡坂妻夫著
女たち、もっと素敵に　大鳥渚著
新・新テレビ事情　倉本聡著
よく学びよく遊び　遠藤周作著
生きてゆく私（上・下）　宇野千代著
塾　その素顔　永畑道子編
数学おもしろ旅行　三浦朱門著
黄色い雨　S・シーグレイブ著
ふるさいの赤橋たち　山田太一著
君が代は軍風に入って　舟越健之輔著
自井秀雄・相原秀次編　今井美沙子著
原爆前後　小田橋坦之著
オランダ兵士長崎被爆記　レネ・シェーファー著
10フィート映画　世界を回る　永井秀明著
物語フランス革命史　全三巻　ルノートル・カストロ共著
永田町おんな太閤記　小林吉弥著
女が幸福を迎えるとき　島田とみ子著
〈非行〉・学校・家族　永畑道子編
君が代は軍風に入って　金田鎮次著

図書館の利用案内
◆所在地　八幡高津池11（☎982-7322）
◆開館時間　火・水・木・金＝午前10時〜午後7時。土・日＝午前10時〜午後5時。
◆休館日　毎週月曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、特別整理期間。
◆貸し出し　4冊まで、2週間借りられます。